

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ソングライティング		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I（前期）	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	福岡を拠点とするシンガーソングライター。 「タイムバンク」CM歌唱、「福岡市公式VOICE～歌で伝えるエンジニアのホンネ～」にて作詞、歌唱を担当。 並行して行なっているバンド“ハルレイン”では「株式会社レンタル丸屋」のCM曲を提供。 ソロ、バンド共に「KBCお天気コンサート」にて多数の楽曲が放映されているほか、楽曲提供・エンジニアとしても活躍中。				
授業概要					
理論と楽曲分析を学び、オリジナル曲を制作する。					
到達目標					
・ダイアトニックコードを理解する。 ・ギターもしくはピアノを使ってコードとメロディーを制作できるようになる。 ・自分の好きな曲を狙って作れるように、様々な曲の分析をしていく中で自然に沢山のジャンルの曲を知ることができる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・音階の仕組み・コード理論・ダイアトニックコードの説明
【前期】 4～7回目	・耳コピー・和音記号の使い方と考え方・歌詞の分析①
【前期】 8～10回目	・楽曲分析・コードの勉強をし、Aメロ作りやサビだけを作ってみる
【前期】 11～13回目	・1曲の流れ、キャッチコピーなどを狙って曲作り・歌詞の分析②
【前期】 14～17回目	・ノンダイアトニックコードの使い方、使いどころの習得 ■前期試験:楽曲の制作により「クオリティ / 表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティ / 表現力」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	作曲は音楽を表現するためにも、とても必要なことだと思います。どんなものでもどうやって作られているか知ることでこれまでとは違った見方になると思います。自分の表現方法の一つとして幅、奥行きにしてほしいです。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンス		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	講師歴: スターダストプロモーション(ばってん少女隊、EBiDAN NEXT)、Rev. from DVL(橋本環奈所属)ルナリウム、キミだけの花言葉 出演歴: 装苑、reevoPV、SHIMEY、SERi9、ポルトガルTODOSテレビ番組「Siga O Coelho Branco」 受賞歴: WORKSダンスコンペティション 銀賞 審査員特別優秀賞、DNC予選準優勝、他多数				
授業概要					
・ストレッチ・筋トレ 身体作り ・基礎トレーニング(アイソレーション / リズム / プリエ / ターン) ・振り付け・踊ってみた・コレオグラフ					
到達目標					
・ダンスのジャンルや基礎を理解し動ける身体のベースを作る。 ・様々なジャンルの楽曲に合わせたコンビネーション・振り付けを覚え踊れる。 ・動けるだけでなく、身体を使って表現する感性や個性を養う。 ・流行りのダンスをコピーしダンスのトレンドを理解する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	姿勢/アイソレーション / リズム / プターン/踊ってみた(可愛い系)
【前期】 4～7回目	アイソレーション / リズム / ターン/振り付け(ストリート系)
【前期】 8～10回目	アイソレーション / リズム / ターン/踊ってみた(カッコイイ系)
【前期】 11～13回目	アイソレーション / リズム / ターン/振り付け(JAZZ系)
【前期】 14～17回目	アイソレーション / リズム / ターン/振り付け(プチ発表会)
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「筋トレ / アイソレーション / リズム / 基本ステップ / 振付」の5項目の到達度、理解度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ダンスの基礎を学ぶとともに、身体能力の向上、身体で表現する楽しさを学んでいきます。 それぞれの知識、技術、経験はどれもステージングに活かされると思います。 より豊かなミュージックライフのお供になる授業をみなさんと創り上げていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	DTM		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I（前期）	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	作曲家でありバンドMuchaMuchaMのギタリスト。自身が作曲したアルバム “WOOLONGCHAINOISE”はApple Music , iTunesのテクノチャートで1位を獲得。 “Qantikala”という作品は世界中のストアでアナログレコードが即完売する程の実績を持つ。 その他にも瀧廉太郎 “荒城の月” のオフィシャルRemixを担当。トラックメイカー名義のORANCHAではSpotifyの総再生数は500万回以上。				
授業概要					
昨今の音楽シーンに欠かせなくなっているDTM,DAW製作を体験し、進路に活かしていく。					
到達目標					
PC(Mac) やDAWソフトLogic Pro Xの基本概念、操作を習得し、課題曲のプログラミングを完成、楽曲を製作する。初級～中級向け。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	シンプルな課題曲を用いて、Logic pro X→PCの基本操作を習得する。
【前期】 4～7回目	各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。①リズム隊
【前期】 8～10回目	各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。②メロディ
【前期】 11～13回目	各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。③コード楽器
【前期】 14～17回目	前期テストの提出のために上記楽曲を完成させ、データの送受信のノウハウを習得する。 ■前期試験:前期課題曲でオペレーション到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コード / メロディ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	実演系の授業と比べると作業的な面もありますが、PC作業を通して、具体的に見えてくる音楽の仕組みを感じることができるなど利点も多いです。実際に同じDTMを手段として作られた楽曲がヒットしている例も多く、自身が楽器ができなくても、高度な演奏技術をPCが再現してくれる、最新のサウンドを用いた製作を楽しむ、等、ノウハウを得てあなたの音楽を表現するきっかけをつかみませんか？
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ポイトレ		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	『Make Me』でデビュー。2枚目となるシングル『Precious Story／タカラモノ』をリリースし、発売後、ユニバーサルホームのテレビCMにも起用された。 CDリリースは約束の場所へ / UNION・ボクたちのホームラン / 福岡ソフトバンクホークス オリジナル演出曲集など。 ラジオパーソナリティー・LOVE FM(過去担当番組:「So High!」「Music Primary」「Life Time Melody」)も行う。				
授業概要					
発声のメカニズムへの理解、声域の拡張、声量アップ、音色(声色)の獲得を目指します。					
到達目標					
・基礎発声練習を通して、健全な肉体と精神を養う。 ・発声のメカニズムへの理解する ・声域の拡張、声量アップ、音色(声色)の獲得を目指す。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	基礎発声練習(チェストボイスの開発)
【前期】 4～7回目	基礎発声練習(チェストボイスの定着)
【前期】 8～10回目	基礎発声練習(弱頭声・ヘッドボイス・ファルセットの開発)
【前期】 11～13回目	基礎発声練習(弱頭声・ヘッドボイス・ファルセットの定着)
【前期】 14～17回目	基礎発声練習(ミドルボイスの開発・定着) ■前期試験:課題曲の歌唱により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ボイストレーニングに慣れていなくても、声を出していくうちに自身の身体を通して大事な感覚、足りない力が見えてくるので、それを知り改善していくことでこれから関わっていくエンターテインメント業界を乗り切る体力を育てていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ドラム		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅰ（前期）	年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	17回（34単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	・私立恵比寿中学、戸渡 陽太、FREAK、Big horns bee等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン ・私立恵比寿中学「アルバム/MUSiC」の楽曲「踊るロクデナシ」等、レコーディング時のバックアップミュージシャン 上記の経歴を活かし、職業として求められる「基本的な演奏技術、リズムの知識等」の指導を行う。				
授業概要					
・初級から上級まで、様々なビートを体験しながら演奏のレベルアップを目標にする。 ・スティックコントロールの向上を目標に、基礎トレーニングをしてみる。 ・4分音符、8分音符を理解し、8ビートから16ビートまで演奏できるようにする。 ・ドラムに必要なフィルインを知り、ビートの中に組み込んで演奏できるようにする。					
到達目標					
・リズム感を養う。 ・拍や小節の概念を知る。 ・ナチュラルサイクル（4小節、8小節）を身につける。 ・プレイの向上や、楽曲のコピーやカヴァー、アンサンブルなどで演奏する事ができる。 ・リズムに関する知識や、他活動において有利な情報として得る事ができる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【ステップ1】スティックの握り方、セッティングの仕方、各パーツの名称を知る。【ステップ2】スネアを使ってシングルストロークで叩いてみる。【ステップ3】キックとハイハットを歩くように交互に踏んでみる。【ステップ4】簡単な8ビートに触れてみる。
【前期】 4～7回目	【ステップ5】4分音符と8分音符を理解し、8ビートを進める。キックのパターンを知り、いくつかのパターンにトライしてみる。【ステップ6】4分と8分のウラを知る。【ステップ7】ウラを使ったバスドラムパターンで8ビートを叩いてみる。
【前期】 8～10回目	【ステップ8】16分音符を知る。【ステップ9】ハイハットを使って16ビートを叩いてみる。【ステップ10】16分音符が入ったフィルインを叩いてみる。
【前期】 11～13回目	【ステップ11】スネアを使って4分、8分、16分をシングルストロークでチェンジアップしてみる。【ステップ12】ステップ11にキックとハイハットを入れて演奏してみる。【ステップ13】16分のウラを知る。
【前期】 14～17回目	【ステップ14】16分ウラのキックを入れて16ビートを演奏してみる。【ステップ15】16ビートでフィルインを入れて演奏してみる。 ■前期試験:課題曲の演奏により「リズム感/ 指定ビート / 指定フィルイン/スティックコントロール」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム感/ 指定ビート / 指定フィルイン/スティックコントロール」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	初心者でも経験者でも、色んなリズムを知る事で音楽をやる上でとても有利になります。たくさんリズムパターンを知ると、演奏知識や音楽制作、そしてリズム感にも役立ちます。楽しく演奏して、音楽に必要なリズムを体験していきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ベース		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習Ⅰ（前期）	年次	1年次		
授業時間	90分（1単位時間45分）		年間授業数	17回（34単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	・JUON、MACO、TOC等様々なアーティスト音源のレコーディング参加。 ・Othello、The Baker Brothers、US3等様々なアーティストとの共演。					
授業概要						
エレキベースを演奏するための基礎や応用を学びます。						
到達目標						
・無駄のないピッキング、フィンガリングのフォームを身につける。 ・理論やベースについての知識を身につける。 ・ベースラインを作成し実際にプレイする。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	2フィンガーの基礎。クロマチックスケールを使った運指トレーニング。
【前期】 4～7回目	メジャースケールを使ってフレット上の音名を覚える。 5度、オクターブ、トライアドのポジションを覚える。
【前期】 8～10回目	ダイアトニックスケールの理解、ポジション確認をする。
【前期】 11～13回目	ダイアトニックスケールを用いてコード進行にベースラインをつけてみる。
【前期】 14～17回目	前期まとめ。 ■前期試験:課題曲の演奏により「ピッキング/ フィンガリング / リズム」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ピッキング/ フィンガリング / リズム」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ベースの基礎から始め、ベーシストとして生きる力をつけていきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アコースティックギター		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅰ（前期）	年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	17回（34単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	楽曲「小さな光」「少しだけ」「少年」などメジャーレーベルからCDをリリース。 自身もDUOでシンガーソングライターとして精力的にライブ活動を実施している。				
授業概要					
アコースティックギターで伴奏などが出来る程度に、コードをストロークなどで弾いてみる。またその他奏法を用いた曲も弾いてみる。					
到達目標					
・アコースティックギターの演奏に必要な技術を身につける。 ・コードやリズムなどの音楽的知識やセンスを身につける。 ・コード譜を見れば曲が演奏出来るようにする。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	基本的な楽器の持ち方・ピックの持ち方・右手のストロークに挑戦。
【前期】 4～7回目	8ビートと16ビートのストロークをしてみる。ストロークに合わせて2コード弾いてみる。4コードの曲に挑戦。
【前期】 8～10回目	コードの覚え方。三和音のオープンコードとバレーコードを覚える。 三和音のオープンコードやバレーコードが出てくる曲を弾いてみる。
【前期】 11～13回目	よく使われる四和音のコードを4つ覚えてみる。四和音のコードを使った曲を弾いてみる。
【前期】 14～17回目	ミュートなどを使ったストロークに挑戦。アコースティックギターのストローク以外の奏法に挑戦。 ■前期試験:課題曲の演奏により「コード知識 / 演奏技術」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「コード知識 / 演奏技術」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アコースティックギターという楽器を理解して、演奏していくことは音楽をやる楽しさを理解することと同意味だと思います。弾けない時は挫折感を味わったりするでしょうが、これから関わっていくことになる音楽業界での仕事にはそういった挫折感につきものです。アコースティックギターを通して、その挫折に負けず楽しんで壁を乗り越える忍耐力も身につけていきましょう。また音楽自体を理解する為に音楽的知識も身につけていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	キーボード		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I（前期）	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	幼少期よりピアノ、エレクトーンを学ぶ。 エレクトーン演奏研究会に参加し、エレクトーンフェスティバルセミファイナル出場、JOCハイライトコンサート出演。 作曲・編曲、DTMによる楽曲制作を行う。ピアノ講師として指導を行うほか、キーボードでのサポート演奏など音楽活動を行っている。				
授業概要					
ドレミの位置や音階など、ピアノに触ったことがなくても基礎の基礎から学んでいきます。コード理論や作曲理論も交えて音楽への理解を深めます。					
到達目標					
・キーボードを通して音感やコード感を身につけ、各自の音楽活動への理解をより深めていきます。 ・簡単なコードを引くことができるようになる。 ・音階やスケールなどを理解し、各自の音楽活動に生かすことができるようになる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【はじめに】ドレミの位置や白鍵・黒鍵の違い、ダイアトニックスケールの定義などを理解しながらキーボードに触れます。
【前期】 4～7回目	【コード理論】コードの成り立ちや仕組みを理解し、実際に演奏します。
【前期】 8～10回目	【作曲理論】作曲におけるコードの扱い方などを、スタンダードの曲を分析しながら理解し、実際に演奏します。
【前期】 11～13回目	【応用】コード名を見てスタンダードの曲を演奏します。上級者は弾き語りにも挑戦します。
【前期】 14～17回目	【応用②】コード名を見て演奏し、メロディを考えてみます。 ■前期試験:楽器の演奏により「演奏力/コードの理解」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「演奏力/コードの理解」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ピアノは、全ての楽器の音域をカバーすることができる万能な楽器です。また、音の高低が一目でわかる楽器でもあります。どの科の生徒でも、キーボードに触れて音階やコードを理解することで自身の活動をより豊かなものにしてくれます。キーボードに触れたことがない生徒、ある程度演奏ができる生徒など、それぞれの上達度に合わせて課題や目標を設定し到達していきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ギター		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I（前期）	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	テレビCM「ビブレ」音源制作 ・LA☆CAPE「暗黙の了解」/作曲 また演奏においてはマイク・スターン、マーカス・ミラー、ポール・ジャクソンなど、世界で活躍するアーティストとも共演。				
授業概要					
エレキギターの楽しさを学び、音楽の上でどのような役割を担っているかを理解する。					
到達目標					
・エレキギターの演奏知識やサウンドの特徴、バンドでの役割を理解する。 ・基本的な技術を習得するための練習法を習得する。 ・チューニングや初期セッティングを自分一人でおこなえるようになる。 ・パワーコードやオープンコード、メジャースケールなどを理解し初歩的な演奏ができるようになる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	エレキギターの基本構造の理解、基礎知識と基礎奏法の習得、演奏フォームの構築
【前期】 4～7回目	課題曲①を用い、関連する知識や技術を習得する(パワーコードとペンタトニックスケールによるシンプルな内容)
【前期】 8～10回目	コード&スケールの基礎、リズムの基礎、機材の仕組みを学ぶ
【前期】 11～13回目	課題曲②を用い、関連する知識や技術を習得する(簡単なギターソロ、リードプレイにチャレンジする)
【前期】 14～17回目	総合復習 ■前期試験:課題曲の演奏により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	可能な限りギターを触る時間を増やし、楽しみながらギターの魅力を探りましょう。現代ポピュラーミュージックにおいて非常に重要かつ多彩な役割を担っており、また小さな枠にとらわれない無限大の可能性を秘めた楽器だということがわかるはずです。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	英会話		授業形態 / 必選	実習	必修		
	学則別表上表記	分野別実習 I（前期）		年次	1年次		
授業時間	90分（1単位時間45分）		年間授業数	17回（34単位時間）	年間単位数	1単位	
科目設置学科コース	全学科全コース						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☐	非該当 ☒
担当講師 実務経歴	・つぼみ(よしもとクリエイティブエージェンシー)「パッパラPARTY」/作曲 ・こまごめピペット(よしもとクリエイティブエージェンシー)「アストロ・コード」「魔法トマホーク」「ネバーランド」 / 作詞・作曲						
授業概要							
英語でコミュニケーションを取る時に必要な知識の習得を目指す。							
到達目標							
・英語の基本的な文法や単語などを習得する。 ・英文章を読み理解が出来る様になる。 ・英会話の基本を学習し、簡単な会話ができるようになる。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	前期: 簡単な単語と基礎的な文法①
【前期】 4～7回目	前期: 簡単な単語と基礎的な文法②
【前期】 8～10回目	前期: 日常英会話①
【前期】 11～13回目	前期: 日常英会話②
【前期】 14～17回目	前期: 簡単な日常会話を実際にやってみる。 ■前期試験: 簡易的な英会話のやり取りで、授業の理解度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	英語でコミュニケーションが取れる様になると、生活や音楽活動にも幅が出ます。 簡単な英会話から学び、英語での会話力を身に付けましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	メイク		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	TV番組、CM撮影、アーティスト撮影、ファッションショー、ブライダル等のメイクアップアーティスト 上記の経歴を活かし、職業として求められる「基本的なヘアメイクの技術と知識」の指導を行う。				

授業概要

メイクの基本から学び、イメージに合わせたメイク、撮影やステージメイク、ヘアアレンジ等、トータルで自分の個性や魅力を表現できるようになる為の技術や知識を習得する。

到達目標

- ・スキンケアの知識やメイクの必要性を理解する。
- ・メイクやヘアの基本的技術や応用力を習得する。
- ・色使いやバランス感覚、センスを身に付ける。
- ・テーマやファッションに合わせ、自分のイメージするメイクを自分の技術で美しく仕上げられるようになる。

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	スキンケア知識を身に付け、実践。美しいベースメイクを仕上げる。
【前期】 4～7回目	アイブロウ、アイシャドウのグラデーション、チーク、リップ等、ポイントメイクを美しく仕上げる方法を学び、実践。
【前期】 8～10回目	イメージメイク、撮影用メイク、ステージメイクを学び、実践。
【前期】 11～13回目	ヘアアレンジの基本や応用。
【前期】 14～17回目	トータルで自分のイメージするメイクとヘアを仕上げる。 ■前期試験:メイクの実技や筆記試験により「スキンケア知識 / メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「スキンケア知識 / メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メイクをすることによって、自分を表現できるだけでなく、自分の理想に近づくことができ、内面からも輝くことができます。また、この授業では流行を取り入れながら、様々な技術や感覚を身に付け、自分の好みの音楽、ファッションに合わせたメイクやヘアを自分でできるようになるようレクチャーしていきますので、トータルで自分をプロデュースしていく力がつきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音トレ		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	バンド「図鑑」にてドリーミュージックより4枚のアルバムをリリース。メディアや国内外のライブ、フェスなど多数出演。 現在はギタリストとしてアーティストのコンサート、レコーディング等、幅広いジャンルにて活動。 共演:クリス・ハート、Ms.OOJA、オリタ・ノボッタ(米米CLUB)、宮川彬良、九州交響楽団、川口千里、FREAK、HKT48 etc…				
授業概要					
音符の読み方からコードやメロディの理解、必要なセオリーの基礎の習得。 また聴音、リズムトレーニングをしていきます。					
到達目標					
セオリーや聴音、リズムトレーニングを通して曲に対する理解度を深め、各々の専門分野とリンクさせる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	音高・音名。シャープ系のメジャースケール。
【前期】 4～7回目	フラット系のメジャースケール。調号・キーサイン。インターバル。
【前期】 8～10回目	ダブルシャープ、ダブルフラット。インターバルの作成。トライアド。
【前期】 11～13回目	音符・休符。拍子・拍子記号。
【前期】 14～17回目	マイナースケール、同名調(同主調、パラレルキー) ■前期試験:筆記試験にて「譜面の基礎名称の理解 / イヤトレカ / 読譜力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音楽の基礎である「音」を様々な視点から捉えられるようになります！ 音楽生活・仕事に役立つように自身の「耳」も鍛えていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカルディレクション		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習 I（前期）	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	KAN、浜崎あゆみ、林原めぐみなど様々なアーティストのバックコーラスやレコーディング制作に携わる。 23歳時にアニメセイバーマリオネットact5エンディング「風の詩を聴きながら」でメジャーデビュー。TVCMソング「マツモトキヨシ」他歌唱多数。 並行して、ヴォイストレーナーとして多数アーティスト(元学生はDAIGO、太田在etc)の指導を行っていた。 近年は80'sbar reflexハウスバンド歌手として毎週末stage歌唱、DISCO DJうらりーな、演劇ミュージカル出演活動もしている。昨年までコミュニティラジオ天神でサブパーソナリティもしていた。昨年デビューした福岡アイドルchitchatの専属ヴォーカルトレーナーもデビュー前から現在している。					
授業概要						
自身のアーティスト性を深く追求し、何をすべきかを考えてひとつずつ明確にしてゆく。必要な技術を得るために練習して録音。パフォーミングをしていく。						
到達目標						
設定した具体的な目標にあう曲を動画撮影1曲。 ※オリジナルでも、カバーでも構いません。ファーストテイク的なもの。バンドでの撮影も。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	自身の良いところ、売りになる所を探求。メンバーとディスカッション。まず、定番曲を歌ってみる。例マリーゴールド。特徴を踏まえて、まず何を形にするのかを決定する。用意すべき音源を確認準備。どんなものがありか無しかの話など音楽家としての当たり前の知識を学ぶ。□
【前期】 4～7回目	決定した曲を録音。他の人の録音の仕方も見て聞いて手順を学ぶ。セルフプロデュース力を身につける。
【前期】 8～10回目	自分で決めた1曲目課題曲をよくよく聴き、次の課題曲を決める。録音。
【前期】 11～13回目	2曲のうち1曲を選び、動画を撮影してみる。
【前期】 14～17回目	編集について学び、足りなかった事を確認して後期に何をしていくのかを決める。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	録音録画をして自分自身の良い所悪い所を確認して、それを踏まえて一つの完成動画を作ることはとても大変です。が、それを楽しみながら発信していくのが音楽家です。ひとつずつ焦らずアーティストな自分を作っていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1 年次		
授業時間	90分 (1単位時間45分)		年間授業数	17回 (34単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	長年ライブハウスにて照明スタッフとして在籍。多くの照明オペレータを担当。 現在フリーランスとしてフェス現場やアーティストの乗り込みオペレーターとしても活動中。					
授業概要						
①照明に関する基本用語、舞台構造及び会場設備、光や色の特性などに関する基礎知識を学びます。 ②ユニット、パトンや灯体などの各機材の役割や正しい取り扱い方法及び安全に関する知識を身につけます。						
到達目標						
・照明における専門用語を理解し、演者側の目線でも適切なオーダーを出せるようになる。 ・コンサートやイベントにおいて照明スタッフとしてどのポジションでも対応できる全般的な知識と技術を身につける。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ホールや劇場の構造や照明のシステム全般について
【前期】 4～7回目	ケーブルの8の字巻、灯体の吊り込みなど基本的な仕込み作業
【前期】 8～10回目	照明シーンの作り方(打ち込み)編
【前期】 11～13回目	照明オペレーション(サンプルアーティストを起用した実践)
【前期】 14～17回目	■前期試験：前期の授業範囲内より抜粋した筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	照明についてたくさん学び、楽しい授業にしましょう！
備考	必要に応じて資料の配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	動画編集		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	絵画教室講師、3DCG映像制作会社勤務を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。 大手食品メーカー店内イラストや冊子挿絵、様々なパンフレットデザイン等、幅広く活動。作家として、ライブペイントや個展・グループ展も開催。その他、 デザイン系専門学校講師兼任。					
授業概要						
Adobe Premiere Pro・After Effectsを使用し、制作を通して色々な角度から動画について学んでいく。						
到達目標						
Macにおける該当アプリ操作とレイヤーを理解し、動画編集についての造形を深め、作品を作り上げる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	「Premiere Pro 基本操作」シーケンスの設定・カット・テキスト・エフェクト 等。
【前期】 4～7回目	「CM再現」Premiere Proを応用し、フォントや画角などを再現する。
【前期】 8～10回目	「グリーンバック撮影」スマートフォンで撮影したものに背景合成を行う。
【前期】 11～13回目	「モーショングラフィックス」After Effectsの基本操作と基本的な動きを制作。
【前期】 14～17回目	「ストップモーション」フレームレートを理解し、絵コンテから制作。 ■前期試験: 前期の授業内容から抜粋し実技試験を実施。内容を理解しているかを問う。
評価方法	S (90点以上) / A (80点以上) / B (70点以上) / C (60点以上) / D (60点未満) / E (未受講) の6段階評価。
学生へのメッセージ	音楽・芸能業界はYou Tubeなどの影響を大いに受けており今後、動画配信は必須のスキルとなってきます。時代に適応してこれらの技術を身につけましょう。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	韓国語		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習Ⅰ(前期)	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	韓国にて3年間の語学留学後、1995年より韓国語通訳・翻訳、韓国ガイド等を経て、現在専門学校を中心に韓国語講師を行う。 上記の経験を活かし「韓国語」の指導にあたる。					

授業概要
韓国語のみのテキストを使用し、日本人が理解しやすい説明を交え、韓国語の基礎知識を習得できるようにする。 また、会話を中心に「生きた韓国語」の習得を目指す。
到達目標
・韓国語の基礎、特にハングルの読み方と発音を正確に学習する。 ・韓国語は文字が読めないと学習できないため、しっかりと正確な読み方と発音を習得し、今後の韓国語学習につなげる。 ・また、韓国語会話の基本を学習し、簡単な会話ができるようになる。

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	韓国語のしくみの理解 (文字形成の理解、発音規則の理解) 韓国語会話テキスト 第1課「どこに行きますか？」 会話文・文型説明、会話練習
【前期】 4～7回目	韓国語会話テキスト 第1課 練習問題 韓国語会話テキスト 第2課「パンありますか？」 会話文・文型説明、会話練習
【前期】 8～10回目	韓国語会話テキスト 第2課 練習問題 韓国語会話テキスト 第3課「デパートでズボンと靴を買います」 会話文・文型説明、会話練習
【前期】 11～13回目	韓国語会話テキスト 第3課 練習問題 韓国語会話テキスト 第4課 復習 I 練習問題、会話練習
【前期】 14～17回目	韓国語会話テキスト 第4課 復習 I 練習問題、会話練習 ■前期試験：前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
評価方法	S (90点以上) / A (80点以上) / B (70点以上) / C (60点以上) / D (60点未満) / E (未受講) の6段階評価。
学生へのメッセージ	韓国語は日本人が一番学習しやすい言語です！ 基礎をしっかり身につけて、会話ができるようになりましょう！ 選択授業終了後も自学できる力をつけましょう！
備考	講師作成プリントを適時配布など。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PA		授業形態 / 必選	実習		必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1 年次		
授業時間	90分 (1単位時間45分)		年間授業数	17回 (34単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	ライブホールのサウンドエンジニアとして20年以上従事の後、現在はフリーランスとしてライブ、フェスや講演会など年間100本以上のPA業務に携わる。 上記の経験を活かしPAにおける仕込みからオペレーションまで一連の実技指導を行う。					

授業概要
①アナログの音響卓の操作。 ②ゲインの取り方、イコライジングの考え方及び操作。 ③メインスピーカー、モニタースピーカーの設置及びチューニング。
科目のねらい
・音響卓(アナログ、デジタル)の操作、周辺機器への正確な繋ぎこみ等ができる。 ・各スピーカーの仕込み、チューニングができる。ステージマンとしての動き方を理解している。

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	8の字巻、マイクスタンドの立て方、スピーカースタンドの立て方。 音響卓のゲインのとり方、イコライジングの仕方。(考え方) PAスピーカーの組み方、音響卓～アンプ～スピーカーのつなぎ方及びGEQチューニング。
【前期】 4～7回目	バンドセットの実習を意識したマイキング、メインスピーカー(モニタースピーカー)のチューニング。 ダンスボーカル系のワイヤレスマイクの設置、メインスピーカー(モニタースピーカー)の設置及びチューニング。 ドラム周りのマイクのチョイス及びマイキング。
【前期】 8～10回目	PRE/POSTの説明、使い分けの考え方。 マルチボックス(16ch,32ch)マルチケーブルを用いてのINPUT/OUTPUTの接続。 バンドセットのライブ実習での実務経験。
【前期】 11～13回目	バンドセットのライブ実習での実務経験。 イベント時のPAセッティングの設置及びチューニング。 様々なPA機会でのスピーカー、マイクのチョイス。
【前期】 14～17回目	前期試験準備。 ■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アナログの音響卓でPAの基礎をしっかりと学習していただきます。
備考	適時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ボーカロイド		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次		
授業時間	90分 (1単位時間45分)		年間授業数	17回 (34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	音楽学校卒業後、2015年よりフリーで作詞作曲をすると同時に、DAW講師として活動。 アイドルグループへの楽曲提供及び編曲を多数行うとともに、レコーディングディレクターとしても活躍。現在に至る。					

授業概要
ボーカロイドソフトの基本操作、作曲をするにあたって必要な知識を学び作品を作成する。
到達目標
・DTMを通して音楽理論、楽器の特性を理解する。 ・ボーカロイドソフトのオペレーションを効率的に運用できるようになる。活舌をよくする、裏声にする、ささやくような歌声にするなど、人間らしい声にするためのさまざまなテクニックを完全公開。 ・習得した技術、知識を使い楽曲を制作技術を身につける。

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	「ボーカロイドとは」。ボーカロイドの基礎。
【前期】 4～7回目	起動からボーカロイドに歌わせてる/ファイル保存。コントロールパラメータの機能を理解。
【前期】 8～10回目	ボカロソフト/画面構成とツールバー、トラック編集 歌詞と音符を入力してみる。ボカロソフトとDAWとの連携。
【前期】 11～13回目	ボカロソフト/ミキシング・マスタリング機能の理解。
【前期】 14～17回目	分析して得たアレンジ法を活かし、曲を作成する。 ■前期試験:ボカロ楽曲の制作の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コード / メロディ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	イメージした物を表現、制作するために必要な技術、知識を学び、将来クリエイティブな仕事ができるようにします。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	楽器知識		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習Ⅰ(前期)		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	音響楽器会社にて楽器や音響機材のメンテナンス/管理に従事。担当アーティストの楽器、機材のケア、九州各地の音楽フェスや放送局の現地楽器クルー業務を担当。					
授業概要						
コンサートなどで使用される一般的な楽器の基礎知識を学び、簡単なハンダ作業、シールド作成、エフェクターの構造など理解を深める。						
到達目標						
それぞれの学科・コースにおいて楽器知識を活かしより良い音楽制作ができるようになる。 楽器のセッティング方法を学ぶ。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ドラムセットの各名称、構造、セッティングを理解する。音色の違いなども聞いてみる。
【前期】 4～7回目	ギターなどの各名称、構造、音の出し方、弦交換などをする。
【前期】 8～10回目	キーボードやMIDIについて学ぶ
【前期】 11～13回目	ハンダ作業にてパッチシールド作成など工具の使い方も学ぶ。
【前期】 14～17回目	簡単なエフェクターの基礎構造と作成をし、半田作業を身につける、音の出る仕組みを理解する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 ドラムセットの組み方など実技試験を行う。
学生へのメッセージ	音楽制作には様々な楽器、機材、専門用語が出てきます。 それらを理解し触れる事で、自身のスキルアップに繋がってください。
備考	必要に応じてテキスト配布やデータの共有を行います。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	楽器知識		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習Ⅰ（前期）	年次	1年次		
授業時間	90分（1単位時間45分）		年間授業数	17回（34単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	自身のバンドで上京、メジャーデビューを果たす。シングル・マキシシングル・アルバム等、計7枚を発表。テレビ・ラジオを始め、各種イベント等多数出演。また、近年では福岡ナンバーショット、中洲ジャズやサツマニアンヘスなどにも舞台監督や現地楽器スタッフとして従事。上記の経験を活かし楽器知識についての講義を行う。					
授業概要						
ドラムセット、ギター、キーボード等様々な楽器の構造と仕組み、セッティング、弦交換、ケーブル作成、ドラムヘッドの張替え、メンテナンスの実技指導を行う						
到達目標						
幅広い楽器知識と実習経験を他学科でも活かせる事						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ドラムセットの構造、セッティング、各種シンバル音色の違い、ヘッド張替え、メンテナンス
【前期】 4～7回目	ギターの構造など、弦交換、チューニング、簡単な修理やメンテ、パッチケーブル作成
【前期】 8～10回目	エフェクターに使われる部品説明
【前期】 11～13回目	管楽器その他様々な楽器について
【前期】 14～17回目	■前期試験：筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ドラムヘッド交換・チューニング等／ギター弦交換・チューニング等／半田付け技術の習得」の3項目の到達度を評価する。
学生へのメッセージ	多種多様な楽器の知識を理解してプラスになれるように学んでください。
備考	適宜テキスト配布

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	レコーディング		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (前期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	10代の頃から自身のユニットを結成して活動。ライブと並行してDTMでの制作を始める。その後音楽活動を続けながらもサウンドエンジニアリングにも傾倒。徐々に自身の作品以外のRec/Mixも手掛けるようになり、近年ではメジャーインディードなど多数のアーティストの作品にエンジニアとして携わりスタジオのメインエンジニアに就任。上記の経験を活かし仕込みからバラシ、スタジオ実習に関する実習を行う。				

授業概要
①レコーディングスタジオの機材や楽器についての理解を深める。 ②録音作業を通じてレコーディングの全体像を理解し、作品を完成させる技術を習得する。

到達目標
・レコーディングスタジオ内にある機材や備品の名称、役割を理解し適切に使用出来る。 ・同じ役割であれば初見の機材でも使用出来る応用力を身に付ける。 ・実践的な練習をすることで、時間のロスのない円滑なレコーディング作業を進められるようになる。 ・レコーディングからミックスまでの流れを学び、完成品のイメージを持った計画性のあるレコーディングを進められる。

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	スタジオの電源の入れ方から、ケーブルの正しい巻き方(8の字巻き)など基本的な作業を理解する
【前期】 4～7回目	マイクやコンソール、スピーカーなどスタジオに常設されている機器の役割を理解する マイクのマイクスタンドへの取り付け方やケーブルの接続方法、CueBoxなど録音前の準備について理解する
【前期】 8～10回目	バンドレコーディング実習(録音編)
【前期】 11～13回目	Pro Tools実習(バンドレコーディング素材の編集)
【前期】 14～17回目	■前期試験:筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	基本的なことから実践的なことまで、実際のスタジオワークを想定した内容を中心に学んでいきます。 わからないところはわかるまで解説しますので安心して下さい。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PA		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習 I（前期）	年次	1年次		
授業時間	90分（1単位時間45分）		年間授業数	17回（34単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	福岡のライブハウスで長年、PA、アーティストブッキングや施設管理業務を担当。自身のライブハウスを問わず、様々な会場やアーティストのコンサートにおいてPAエンジニアとして従事。管理業務、店舗への音響設備などの業務も行なっている。また、自身がギターを担当しているバンドでは福岡を中心に精力的に活動中。 上記の経験を活かし音響知識に関する講義を行う。					
授業概要						
①アナログの音響卓の操作。 ②ゲインの取り方、イコライジングの考え方及び操作。 ③メインスピーカー、モニタースピーカーの設置及びチューニング。						
科目のねらい						
・音響卓（アナログ、デジタル）の操作、周辺機器への正確な繋ぎこみ等ができる。 ・各スピーカーの仕込み、チューニングができる。ステージマンとしての動き方を理解している。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	8の字巻、マイクスタンドの立て方、スピーカースタンドの立て方。 音響卓のゲインのとり方、イコライジングの仕方。(考え方) PAスピーカーの組み方、音響卓～アンプ～スピーカーのつなぎ方及びGEQチューニング。
【前期】 4～7回目	バンドセットの実習を意識したマイキング、メインスピーカー(モニタースピーカー)のチューニング。 ダンスボーカル系のワイヤレスマイクの設置、メインスピーカー(モニタースピーカー)の設置及びチューニング。 ドラム周りのマイクのチョイス及びマイキング。
【前期】 8～10回目	PRE/POSTの説明、使い分けの考え方。 マルチボックス(16ch,32ch)マルチケーブルを用いてのINPUT/OUTPUTの接続。 バンドセットのライブ実習での実務経験。
【前期】 11～13回目	バンドセットのライブ実習での実務経験。 イベント時のPAセッティングの設置及びチューニング。 様々なPA機会でのスピーカー、マイクのチョイス。
【前期】 14～17回目	前期試験準備。 ■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アナログの音響卓でPAの基礎をしっかりと学習していただきます。
備考	適時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカルディレクション		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習Ⅰ（後期）	年次	1年次		
授業時間	90分（1単位時間45分）		年間授業数	17回（34単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	KAN、浜崎あゆみ、林原めぐみなど様々なアーティストのバックコーラスやレコーディング制作に携わる。 23歳時にアニメセイバーマリオネットact5エンディング「風の詩を聴きながら」でメジャーデビュー。TVCMソング「マツモトキヨシ」他歌唱多数。 並行して、ヴォイストレーナーとして多数アーティスト（元生徒はDAIGO、太田在eto）の指導を行っていた。 近年は80'sbar reflexハウスバンド歌手として毎週末stage歌唱、DISCO DJうらりーな、演劇ミュージカル出演活動もしている。昨年までコミュニティラジオ天神でサブパーソナリティもしていた。昨年デビューした福岡アイドルchitchatの専属ヴォーカルトレーナーもデビュー前から現在している。					
授業概要						
自身のアーティスト性を深く追求し、何をすべきかを考えてひとつずつ明確にしてゆく。必要な技術を得るために練習して録音。パフォーミングをしていく。						
到達目標						
設定した具体的な目標にあう曲を動画撮影1曲。 ※オリジナルでも、カバーでも構いません。ファーストテイク的なもの。バンドでの撮影も。						

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	自身の良いところ、売りになる所を探求。メンバーとディスカッション。まず、定番曲を歌ってみる。例マリーゴールド。特徴を踏まえて、まず何を形にするのかを決定する。用意すべき音源を確認準備。どんなものがありか無しかの話など音楽家としての当たり前の知識を学ぶ。□
【後期】 4～7回目	決定した曲を録音。他の人の録音の仕方も見て聞いて手順を学ぶ。セルフプロデュース力を身につける。
【後期】 8～10回目	自分で決めた1曲目課題曲をよくよく聴き、次の課題曲を決める。録音。
【後期】 11～13回目	2曲のうち1曲を選び、動画を撮影してみる。
【後期】 14～17回目	編集について学び、足りなかった事を確認して後期に何をしていくのかを決める。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	録音録画をして自分自身の良い所悪い所を確認して、それを踏まえて一つの完成動画を作ることはとても大変です。が、それを楽しみながら発信していくのが音楽家です。ひとつずつ焦らずアーティストな自分を作っていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンス		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)		年次	1年次
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	講師歴: スターダストプロモーション(ぽってん少女隊、EBiDAN NEXT)、Rev. from DVL(橋本環奈所属)ルナリウム、キミだけの花言葉 出演歴: 装苑、reevoPV、SHIMEY、SERi9、ポルトガルTODOSテレビ番組「Siga O Coelho Branco」 受賞歴: WORKSダンスコンペティション 銀賞 審査員特別優秀賞、DNC予選準優勝、他多数				
授業概要					
・ストレッチ・筋トレ 身体作り ・基礎トレーニング(アイソレーション / リズム / プリエ / ターン) ・振り付け・踊ってみた・コレオグラフ					
到達目標					
・ダンスのジャンルや基礎を理解し動ける身体のベースを作る。 ・様々なジャンルの楽曲に合わせたコンビネーション・振り付けを覚え踊れる。 ・動けるだけでなく、身体を使って表現する感性や個性を養う。 ・流行りのダンスをコピーしダンスのトレンドを理解する。					

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	姿勢/アイソレーション / リズム / プターン/踊ってみた(可愛い系)
【後期】 4～7回目	アイソレーション / リズム / ターン/振り付け(ストリート系)
【後期】 8～10回目	アイソレーション / リズム / ターン/踊ってみた(カッコイイ系)
【後期】 11～13回目	アイソレーション / リズム / ターン/振り付け(JAZZ系)
【後期】 14～17回目	アイソレーション / リズム / ターン/振り付け(プチ発表会)
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「筋トレ / アイソレーション / リズム / 基本ステップ / 振付」の5項目の到達度、理解度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ダンスの基礎を学ぶとともに、身体能力の向上、身体で表現する楽しさを学んでいきます。 それぞれの知識、技術、経験はどれもステージングに活かされると思います。 より豊かなミュージックライフのお供になる授業をみなさんと創り上げていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	DTM		授業形態 / 必選	実習	必修		
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位	
科目設置学科コース	全学科全コース						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒	非該当 ☐
担当講師 実務経歴	作曲家でありバンドMuchaMuchaMのギタリスト。自身が作曲したアルバム “WOOLONGCHAINOISE”はApple Music , iTunesのテクノチャートで1位を獲得。 “Qantikala”という作品は世界中のストアでアナログレコードが即完売する程の実績を持つ。 その他にも瀧廉太郎 “荒城の月” のオフィシャルRemixを担当。トラックメイカー名義のORANCHAではSpotifyの総再生数は500万回以上。						
授業概要							
昨今の音楽シーンに欠かせなくなっているDTM,DAW製作を体験し、進路に活かしていく。							
到達目標							
PC(Mac) やDAWソフトLogic Pro Xの基本概念、操作を習得し、課題曲のプログラミングを完成、楽曲を製作する。初級～中級向け。							

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	シンプルな課題曲を用いて、Logic pro X→PCの基本操作を習得する。
【後期】 4～7回目	各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。①リズム隊
【後期】 8～10回目	各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。②メロディ
【後期】 11～13回目	各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。③コード楽器
【後期】 14～17回目	テストの提出のために上記楽曲を完成させ、データの送受信のノウハウを習得する。 ■後期試験：課題曲でオペレーション到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コード / メロディ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	実演系の授業と比べると作業的な面もありますが、PC作業を通して、具体的に見えてくる音楽の仕組みを感じることができるなど利点も多いです。実際に同じDTMを手段として作られた楽曲がヒットしている例も多く、自身が楽器ができなくても、高度な演奏技術をPCが再現してくれる、最新のサウンドを用いた製作を楽しむ、等、ノウハウを得てあなたの音楽を表現するきっかけをつかみませんか？
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ソングライティング		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	福岡を拠点とするシンガーソングライター。 「タイムバンク」CM歌唱、「福岡市公式VOICE～歌で伝えるエンジニアのホンネ～」にて作詞、歌唱を担当。 並行して行なっているバンド“ハルレイン”では「株式会社レンタル丸屋」のCM曲を提供。 ソロ、バンド共に「KBCお天気コンサート」にて多数の楽曲が放映されているほか、楽曲提供・エンジニアとしても活躍中。				
授業概要					
理論と楽曲分析を学び、オリジナル曲を制作する。					
到達目標					
・ダイアトニックコードを理解する。 ・ギターもしくはピアノを使ってコードとメロディーを制作できるようになる。 ・自分の好きな曲を狙って作れるように、様々な曲の分析をしていく中で自然に沢山のジャンルの曲を知ることができる。					

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	・音階の仕組み・コード理論・ダイアトニックコードの説明
【後期】 4～7回目	・耳コピー・和音記号の使い方と考え方・歌詞の分析①
【後期】 8～10回目	・楽曲分析・コードの勉強をし、Aメロ作りやサビだけを作ってみる
【後期】 11～13回目	・1曲の流れ、キャッチコピーなどを狙って曲作り・歌詞の分析②
【後期】 14～17回目	・ノンダイアトニックコードの使い方、使いどころの習得 ■後期試験:楽曲の制作により「クオリティ / 表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティ / 表現力」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	作曲は音楽を表現するためにも、とても必要なことだと思います。どんなものでもどうやって作られているか知ることでこれまでとは違った見方になると思います。自分の表現方法の一つとして幅、奥行きにしてほしいです。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ポイトレ		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	『Make Me』でデビュー。2枚目となるシングル『Precious Story／タカラモノ』をリリースし、発売後、ユニバーサルホームのテレビCMにも起用された。 CDリリースは約束の場所へ / UNION・ボクたちのホームラン / 福岡ソフトバンクホークス オリジナル演出曲集など。 ラジオパーソナリティー・LOVE FM(過去担当番組:「So High!」「Music Primary」「Life Time Melody」)も行う。					
授業概要						
発声のメカニズムへの理解、声域の拡張、声量アップ、音色(声色)の獲得を目指します。						
到達目標						
・基礎発声練習を通して、健全な肉体と精神を養う。 ・発声のメカニズムへの理解する ・声域の拡張、声量アップ、音色(声色)の獲得を目指す。						

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	基礎発声練習(チェストボイスの開発)
【後期】 4～7回目	基礎発声練習(チェストボイスの定着)
【後期】 8～10回目	基礎発声練習(弱頭声・ヘッドボイス・ファルセットの開発)
【後期】 11～13回目	基礎発声練習(弱頭声・ヘッドボイス・ファルセットの定着)
【後期】 14～17回目	基礎発声練習(ミドルボイスの開発・定着) ■後期試験:課題曲の歌唱により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ボイストレーニングに慣れていなくても、声を出していくうちに自身の身体を通して大事な感覚、足りない力が見えてくるので、それを知り改善していくことでこれから関わっていくエンターテインメント業界を乗り切る体力を育てていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ドラム		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習Ⅰ(後期)	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	・私立恵比寿中学、戸渡 陽太、FREAK、Big horns bee等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン ・私立恵比寿中学「アルバム/MUSIC」の楽曲「踊るロクデナシ」等、レコーディング時のバックアップミュージシャン 上記の経歴を活かし、職業として求められる「基本的な演奏技術、リズムの知識等」の指導を行う。					
授業概要						
・初級から上級まで、様々なビートを体験しながら演奏のレベルアップを目標にする。 ・スティックコントロールの向上を目標に、基礎トレーニングをしてみる。 ・4分音符、8分音符を理解し、8ビートから16ビートまで演奏できるようにする。 ・ドラムに必要なフィルインを知り、ビートの中に組み込んで演奏できるようにする。						
到達目標						
・リズム感を養う。 ・拍や小節の概念を知る。 ・ナチュラルサイクル(4小節、8小節)を身につける。 ・プレイの向上や、楽曲のコピーやカヴァー、アンサンブルなどで演奏する事ができる。 ・リズムに関する知識や、他活動において有利な情報として得る事ができる。						

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	【ステップ1】スティックの握り方、セッティングの仕方、各パーツの名称を知る。 【ステップ2】スネアを使ってシングルストロークで叩いてみる。 【ステップ3】キックとハイハットを歩くように交互に踏んでみる。 【ステップ4】簡単な8ビートに触れてみる。
【後期】 4～7回目	【ステップ5】4分音符と8分音符を理解し、8ビートを進める。キックのパターンを知り、いくつかのパターンにトライしてみる。 【ステップ6】4分と8分のウラを知る。 【ステップ7】ウラを使ったバスドラムパターンで8ビートを叩いてみる。
【後期】 8～10回目	【ステップ8】16分音符を知る。 【ステップ9】ハイハットを使って16ビートを叩いてみる。 【ステップ10】16分音符が入ったフィルインを叩いてみる。
【後期】 11～13回目	【ステップ11】スネアを使って4分、8分、16分をシングルストロークでチェンジアップしてみる。 【ステップ12】ステップ11にキックとハイハットを入れて演奏してみる。 【ステップ13】16分のウラを知る。
【後期】 14～17回目	【ステップ14】16分ウラのキックを入れて16ビートを演奏してみる。 【ステップ15】16ビートでフィルインを入れて演奏してみる。 ■後期試験:課題曲の演奏により「リズム感/ 指定ビート / 指定フィルイン/スティックコントロール」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム感/ 指定ビート / 指定フィルイン/スティックコントロール」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	初心者でも経験者でも、色んなリズムを知る事で音楽をやる上でとても有利になります。たくさんリズムパターンを知ると、演奏知識や音楽制作、そしてリズム感にも役立ちます。楽しく演奏して、音楽に必要なリズムを体験していきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ベース		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	・JUON、MACO、TOC等様々なアーティスト音源のレコーディング参加。 ・Othello、The Baker Brothers、US3等様々なアーティストとの共演。				
授業概要					
エレキベースを演奏するための基礎や応用を学びます。					
到達目標					
・無駄のないピッキング、フィンガリングのフォームを身につける。 ・理論やベースにおいての知識を身につける。 ・ベースラインを作成し実際にプレイする。					

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	2フィンガーの基礎。クロマチックスケールを使った運指トレーニング。
【後期】 4～7回目	メジャースケールを使ってフレット上の音名を覚える。 5度、オクターブ、トライアドのポジションを覚える。
【後期】 8～10回目	ダイアトニックスケールの理解、ポジション確認をする。
【後期】 11～13回目	ダイアトニックスケールを用いてコード進行にベースラインをつけてみる。
【後期】 14～17回目	前期まとめ。 ■前期試験:課題曲の演奏により「ピッキング/ フィンガリング / リズム」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ピッキング/ フィンガリング / リズム」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ベースの基礎から始め、ベーシストとして生きる力をつけていきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アコースティックギター		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅰ（後期）	年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	17回（34単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	楽曲「小さな光」「少しだけ」「少年」などメジャーレーベルからCDをリリース。 自身もDUOでシンガーソングライターとして精力的にライブ活動を実施している。				
授業概要					
アコースティックギターで伴奏などが出来る程度に、コードをストロークなどで弾いてみる。またその他奏法を用いた曲も弾いてみる。					
到達目標					
・アコースティックギターの演奏に必要な技術を身につける。 ・コードやリズムなどの音楽的知識やセンスを身につける。 ・コード譜を見れば曲が演奏出来るようにする。					

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	基本的な楽器の持ち方・ピックの持ち方・右手のストロークに挑戦。
【後期】 4～7回目	8ビートと16ビートのストロークをしてみる。ストロークに合わせて2コード弾いてみる。4コードの曲に挑戦。
【後期】 8～10回目	コードの覚え方。三和音のオープンコードとバレーコードを覚える。 三和音のオープンコードやバレーコードが出てくる曲を弾いてみる。
【後期】 11～13回目	よく使われる四和音のコードを4つ覚えてみる。四和音のコードを使った曲を弾いてみる。
【後期】 14～17回目	ミュートなどを使ったストロークに挑戦。アコースティックギターのストローク以外の奏法に挑戦。 ■後期試験：課題曲の演奏により「コード知識 / 演奏技術」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「コード知識 / 演奏技術」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アコースティックギターという楽器を理解して、演奏していくことは音楽をやる楽しさを理解することと同意味だと思います。弾けない時は挫折感を味わったりするでしょうが、これから関わっていくことになる音楽業界での仕事にはそういった挫折感につきものです。アコースティックギターを通して、その挫折に負けず楽しんで壁を乗り越える忍耐力も身につけていきましょう。また音楽自体を理解する為に音楽的知識も身につけていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	キーボード		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習Ⅰ（後期）		年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）		年間授業数	17回（34単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	幼少期よりピアノ、エレクトーンを学ぶ。 エレクトーン演奏研究会に参加し、エレクトーンフェスティバルセミファイナル出場、JOCハイライトコンサート出演。 作曲・編曲、DTMによる楽曲制作を行う。ピアノ講師として指導を行うほか、キーボードでのサポート演奏など音楽活動を行っている。					
授業概要						
ドレミの位置や音階など、ピアノに触ったことがなくても基礎の基礎から学んでいきます。コード理論や作曲理論も交えて音楽への理解を深めます。						
到達目標						
・キーボードを通して音感やコード感を身につけ、各自の音楽活動への理解をより深めていきます。 ・簡単なコードを引くことができるようになる。 ・音階やスケールなどを理解し、各自の音楽活動に生かすことができるようになる。						

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	【はじめに】ドレミの位置や白鍵・黒鍵の違い、ダイアトニックスケールの定義などを理解しながらキーボードに触れます。
【後期】 4～7回目	【コード理論】コードの成り立ちや仕組みを理解し、実際に演奏します。
【後期】 8～10回目	【作曲理論】作曲におけるコードの扱い方などを、スタンダードの曲を分析しながら理解し、実際に演奏します。
【後期】 11～13回目	【応用】コード名を見てスタンダードの曲を演奏します。上級者は弾き語りにも挑戦します。
【後期】 14～17回目	【応用②】コード名を見て演奏し、メロディを考えてみます。 ■後期試験:楽器の演奏により「演奏力/コードの理解」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「演奏力/コードの理解」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ピアノは、全ての楽器の音域をカバーすることができる万能な楽器です。また、音の高低が一目でわかる楽器でもあります。どの科の生徒でも、キーボードに触れて音階やコードを理解することで自身の活動をより豊かなものにしてくれます。キーボードに触れたことがない生徒、ある程度演奏ができる生徒など、それぞれの上達度に合わせて課題や目標を設定し到達していきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ギター		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐
担当講師 実務経歴	テレビCM「ビブレ」音源制作 ・LA☆CAPE「暗黙の了解」/作曲 また演奏においてはマイク・スターン、マーカス・ミラー、ポール・ジャクソンなど、世界で活躍するアーティストとも共演。				

授業概要
エレキギターの楽しさを学び、音楽の上でどのような役割を担っているかを理解する。

到達目標
・エレキギターの演奏知識やサウンドの特徴、バンドでの役割を理解する。 ・基本的な技術を習得するための練習法を習得する。 ・チューニングや初期セッティングを自分一人でおこなえるようになる。 ・パワーコードやオープンコード、メジャースケールなどを理解し初歩的な演奏ができるようになる。

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	エレキギターの基本構造の理解、基礎知識と基礎奏法の習得、演奏フォームの構築
【後期】 4～7回目	課題曲①を用い、関連する知識や技術を習得する(パワーコードとペンタトニックスケールによるシンプルな内容)
【後期】 8～10回目	コード&スケールの基礎、リズムの基礎、機材の仕組みを学ぶ
【後期】 11～13回目	課題曲②を用い、関連する知識や技術を習得する(簡単なギターソロ、リードプレイにチャレンジする)
【後期】 14～17回目	総合復習 ■前期試験:課題曲の演奏により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	可能な限りギターを触る時間を増やし、楽しみながらギターの魅力を探りましょう。現代ポピュラーミュージックにおいて非常に重要かつ多彩な役割を担っており、また小さな枠にとらわれない無限大の可能性を秘めた楽器だということがわかるはずで す。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	英会話		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅰ（後期）		年次	1年次
授業時間	90分（1単位時間45分）		年間授業数	17回（34単位時間）	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒				
担当講師 実務経歴	・つぼみ（よしもとクリエイティブエージェンシー）「パッパラPARTY」／作曲 ・こまごめピペット（よしもとクリエイティブエージェンシー）「アストロ・コード」「魔法トマホーク」「ネバーランド」／作詞・作曲				
授業概要					
英語でコミュニケーションを取る時に必要な知識の習得を目指す。					
到達目標					
・英語の基本的な文法や単語などを習得する。 ・英文章を読み理解が出来る様になる。 ・英会話の基本を学習し、簡単な会話ができるようになる。					

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	前期：簡単な単語と基礎的な文法①
【後期】 4～7回目	前期：簡単な単語と基礎的な文法②
【後期】 8～10回目	前期：日常英会話①
【後期】 11～13回目	前期：日常英会話②
【後期】 14～17回目	前期：簡単な日常会話を実際にやってみる。 ■後期試験：簡易的な英会話のやり取りで、授業の理解度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	英語でコミュニケーションが取れる様になると、生活や音楽活動にも幅が出ます。 簡単な英会話から学び、英語での会話力を身に付けましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	メイク		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習Ⅰ（後期）	年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）		年間授業数	17回（34単位時間）	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	TV番組、CM撮影、アーティスト撮影、ファッションショー、ブライダル等のメイクアップアーティスト 上記の経歴を活かし、職業として求められる「基本的なヘアメイクの技術と知識」の指導を行う。				
授業概要					
メイクの基本から学び、イメージに合わせたメイク、撮影やステージメイク、ヘアアレンジ等、トータルで自分の個性や魅力を表現できるようになる為の技術や知識を習得する。					
到達目標					
・スキンケアの知識やメイクの必要性を理解する。 ・メイクやヘアの基本的技術や応用力を習得する。 ・色使いやバランス感覚、センスを身に付ける。 ・テーマやファッションに合わせ、自分のイメージするメイクを自分の技術で美しく仕上げられるようになる。					

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	スキンケア知識を身に付け、実践。美しいベースメイクを仕上げる。
【後期】 4～7回目	アイブロウ、アイシャドウのグラデーション、チーク、リップ等、ポイントメイクを美しく仕上げる方法を学び、実践。
【後期】 8～10回目	イメージメイク、撮影用メイク、ステージメイクを学び、実践。
【後期】 11～13回目	ヘアアレンジの基本や応用。
【後期】 14～17回目	トータルで自分のイメージするメイクとヘアを仕上げる。 ■後期試験:メイクの実技や筆記試験により「スキンケア知識 / メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「スキンケア知識 / メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メイクをすることによって、自分を表現できるだけでなく、自分の理想に近づくことができ、内面からも輝くことができます。また、この授業では流行を取り入れながら、様々な技術や感覚を身に付け、自分の好みの音楽、ファッションに合わせたメイクやヘアを自分でできるようになるようレクチャーしていきますので、トータルで自分をプロデュースしていく力がつきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音トレ		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I（後期）	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	バンド「図鑑」にてドリーミュージックより4枚のアルバムをリリース。メディアや国内外のライブ、フェスなど多数出演。 現在はギタリストとしてアーティストのコンサート、レコーディング等、幅広いジャンルにて活動。 共演:クリス・ハート、Ms.OOJA、オリタ・ノボッタ(米米CLUB)、宮川彬良、九州交響楽団、川口千里、FREAK、HKT48 etc…				
授業概要					
音符の読み方からコードやメロディの理解、必要なセオリーの基礎の習得。 また聴音、リズムトレーニングをしていきます。					
到達目標					
セオリーや聴音、リズムトレーニングを通して曲に対する理解度を深め、各々の専門分野とリンクさせる。					

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	音高・音名。シャープ系のメジャースケール。
【後期】 4～7回目	フラット系のメジャースケール。調号・キーサイン。インターバル。
【後期】 8～10回目	ダブルシャープ、ダブルフラット。インターバルの作成。トライアド。
【後期】 11～13回目	音符・休符。拍子・拍子記号。
【後期】 14～17回目	マイナースケール、同名調（同主調、パラレルキー） ■後期試験:筆記試験にて「譜面の基礎名称の理解 / イヤトレカ / 読譜力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音楽の基礎である「音」を様々な視点から捉えられるようになります！ 音楽生活・仕事に役立つように自身の「耳」も鍛えていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1 年次		
授業時間	90分 (1単位時間45分)		年間授業数	17回 (34単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	長年ライブハウスにて照明スタッフとして在籍。多くの照明オペレータを担当。 現在フリーランスとしてフェス現場やアーティストの乗り込みオペレーターとしても活動中。					
授業概要						
①照明に関する基本用語、舞台構造及び会場設備、光や色の特性などに関する基礎知識を学びます。 ②ユニット、バトンや灯体などの各機材の役割や正しい取り扱い方法及び安全に関する知識を身につけます。						
到達目標						
・照明における専門用語を理解し、演者側の目線でも適切なオーダーを出せるようになる。 ・コンサートやイベントにおいて照明スタッフとしてどのポジションでも対応できる全般的な知識と技術を身に着ける。						

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	ホールや劇場の構造や照明のシステム全般について
【後期】 4～7回目	ケーブルの8の字巻、灯体の吊り込みなど基本的な仕込み作業
【後期】 8～10回目	照明シーンの作り方(打ち込み)編
【後期】 11～13回目	照明オペレーション(サンプルアーティストを起用した実践)
【後期】 14～17回目	■後期試験：後期の授業範囲内より抜粋した筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	照明についてたくさん学び、楽しい授業にしましょう！
備考	必要に応じて資料の配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	動画編集		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	絵画教室講師、3DCG映像制作会社勤務を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。 大手食品メーカー店内イラストや冊子挿絵、様々なパンフレットデザイン等、幅広く活動。作家として、ライブペイントや個展・グループ展も開催。その他、 デザイン系専門学校講師兼任。					
授業概要						
Adobe Premiere Pro・After Effectsを使用し、制作を通して色々な角度から動画について学んでいく。						
到達目標						
Macにおける該当アプリ操作とレイヤーを理解し、動画編集についての造形を深め、作品を作り上げる。						

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	「Premiere Pro 基本操作」シーケンスの設定・カット・テキスト・エフェクト 等。
【後期】 4～7回目	「CM再現」Premiere Proを応用し、フォントや画角などを再現する。
【後期】 8～10回目	「グリーンバック撮影」スマートフォンで撮影したものに背景合成を行う。
【後期】 11～13回目	「モーショングラフィックス」After Effectsの基本操作と基本的な動きを制作。
【後期】 14～17回目	「ストップモーション」フレームレートを理解し、絵コンテから制作。 ■後期試験:後期の授業内容から抜粋し実技試験を実施。内容を理解しているかを問う。
評価方法	S (90点以上) / A (80点以上) / B (70点以上) / C (60点以上) / D (60点未満) / E (未受講) の6段階評価。
学生へのメッセージ	音楽・芸能業界はYou Tubeなどの影響を大いに受けており今後、動画配信は必須のスキルとなってきます。時代に適応してこれらの技術を身につけましょう。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	韓国語		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	韓国にて3年間の語学留学後、1995年より韓国語通訳・翻訳、韓国ガイド等を経て、現在専門学校を中心に韓国語講師を行う。 上記の経験を活かし「韓国語」の指導にあたる。				

授業概要
韓国語のみのテキストを使用し、日本人が理解しやすい説明を交え、韓国語の基礎知識を習得できるようにする。 また、会話を中心に「生きた韓国語」の習得を目指す。
到達目標
・韓国語の基礎、特にハングルの読み方と発音を正確に学習する。 ・韓国語は文字が読めないと学習できないため、しっかりと正確な読み方と発音を習得し、今後の韓国語学習につなげる。 ・また、韓国語会話の基本を学習し、簡単な会話ができるようになる。

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	韓国語のしくみの理解(文字形成の理解、発音規則の理解) 韓国語会話テキスト 第1課「どこに行きますか？」会話文・文型説明、会話練習
【後期】 4～7回目	韓国語会話テキスト 第1課 練習問題 韓国語会話テキスト 第2課「パンありますか？」会話文・文型説明、会話練習
【後期】 8～10回目	韓国語会話テキスト 第2課 練習問題 韓国語会話テキスト 第3課「デパートでズボンと靴を買います」会話文・文型説明、会話練習
【後期】 11～13回目	韓国語会話テキスト 第3課 練習問題 韓国語会話テキスト 第4課 復習 I 練習問題、会話練習
【後期】 14～17回目	韓国語会話テキスト 第4課 復習 I 練習問題、会話練習 ■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。
学生へのメッセージ	韓国語は日本人が一番学習しやすい言語です！ 基礎をしっかり身につけて、会話ができるようになりましょう！ 選択授業終了後も自学できる力をつけましょう！
備考	講師作成プリントを適時配布など。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PA		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1 年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)		年間授業数	17回 (34単位時間)	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	ライブホールのサウンドエンジニアとして20年以上従事の後、現在はフリーランスとしてライブ、フェスや講演会など年間100本以上のPA業務に携わる。 上記の経験を活かしPAにおける仕込みからオペレーションまで一連の実技指導を行う。				

授業概要
①アナログの音響卓の操作。 ②ゲインの取り方、イコライジングの考え方及び操作。 ③メインスピーカー、モニタースピーカーの設置及びチューニング。
科目のねらい
・音響卓(アナログ、デジタル)の操作、周辺機器への正確な繋ぎこみ等ができる。 ・各スピーカーの仕込み、チューニングができる。ステージマンとしての動き方を理解している。

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	8の字巻、マイクスタンドの立て方、スピーカースタンドの立て方。 音響卓のゲインのとり方、イコライジングの仕方。(考え方) PAスピーカーの組み方、音響卓～アンプ～スピーカーのつなぎ方及びGEQチューニング。
【後期】 4～7回目	バンドセットの実習を意識したマイキング、メインスピーカー(モニタースピーカー)のチューニング。 ダンスボーカル系のワイヤレスマイクの設置、メインスピーカー(モニタースピーカー)の設置及びチューニング。 ドラム周りのマイクのチョイス及びマイキング。
【後期】 8～10回目	PRE/POSTの説明、使い分けの考え方。 マルチボックス(16ch,32ch)マルチケーブルを用いてのINPUT/OUTPUTの接続。 バンドセットのライブ実習での実務経験。
【後期】 11～13回目	バンドセットのライブ実習での実務経験。 イベント時のPAセッティングの設置及びチューニング。 様々なPA機会でのスピーカー、マイクのチョイス。
【後期】 14～17回目	後期試験準備。 ■後期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アナログの音響卓でPAの基礎をしっかりと学習していただきます。
備考	適時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ボーカロイド		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)		年間授業数	17回 (34単位時間)	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	音楽学校卒業後、2015年よりフリーで作詞作曲をすると同時に、DAW講師として活動。 アイドルグループへの楽曲提供及び編曲を多数行うとともに、レコーディングディレクターとしても活躍。現在に至る。				

授業概要
ボーカロイドソフトの基本操作、作曲をするにあたって必要な知識を学び作品を作成する。
到達目標
・DTMを通して音楽理論、楽器の特性を理解する。 ・ボーカロイドソフトのオペレーションを効率的に運用できるようになる。活舌をよくする、裏声にする、ささやくような歌声にするなど、人間らしい声にするためのさまざまなテクニックを完全公開。 ・習得した技術、知識を使い楽曲を制作技術を身につける。

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	「ボーカロイドとは」。ボーカロイドの基礎。
【後期】 4～7回目	起動からボーカロイドに歌わせてる/ファイル保存。コントロールパラメータの機能を理解。
【後期】 8～10回目	ボカロソフト/画面構成とツールバー、トラック編集 歌詞と音符を入力してみる。ボカロソフトとDAWとの連携。
【後期】 11～13回目	ボカロソフト/ミキシング・マスタリング機能の理解。
【後期】 14～17回目	分析して得たアレンジ法を活かし、曲を作成する。 ■後期試験:ボカロ楽曲の制作の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コード / メロディ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	イメージした物を表現、制作するために必要な技術、知識を学び、将来クリエイティブな仕事ができるようにします。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	楽器知識		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	音響楽器会社にて楽器や音響機材のメンテナンス/管理に従事。担当アーティストの楽器、機材のケア、九州各地の音楽フェスや放送局の現地楽器クルー業務を担当。					
授業概要						
コンサートなどで使用される一般的な楽器の基礎知識を学び、簡単なハンダ作業、シールド作成、エフェクターの構造など理解を深める。						
到達目標						
それぞれの学科・コースにおいて楽器知識を活かしより良い音楽制作ができるようになる。 楽器のセッティング方法を学ぶ。						

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	ドラムセットの各名称、構造、セッティングを理解する。音色の違いなども聞いてみる。
【後期】 4～7回目	ギターなどの各名称、構造、音の出し方、弦交換などをする。
【後期】 8～10回目	キーボードやMIDIについて学ぶ
【後期】 11～13回目	ハンダ作業にてパッチシールド作成など工具の使い方も学ぶ。
【後期】 14～17回目	簡単なエフェクターの基礎構造と作成をし、半田作業を身につける、音の出る仕組みを理解する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 ドラムセットの組み方など実技試験を行う。
学生へのメッセージ	音楽制作には様々な楽器、機材、専門用語が出てきます。 それらを理解し触れる事で、自身のスキルアップに繋がってください。
備考	必要に応じてテキスト配布やデータの共有を行います。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PA		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習 I（後期）	年次	1年次		
授業時間	90分（1単位時間45分）		年間授業数	17回（34単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	福岡のライブハウスで長年、PA、アーティストブッキングや施設管理業務を担当。自身のライブハウスを問わず、様々な会場やアーティストのコンサートにおいてPAエンジニアとして従事。管理業務、店舗への音響設備などの業務も行なっている。また、自身がギターを担当しているバンドでは福岡を中心に精力的に活動中。 上記の経験を活かし音響知識に関する講義を行う。					
授業概要						
①アナログの音響卓の操作。 ②ゲインの取り方、イコライジングの考え方及び操作。 ③メインスピーカー、モニタースピーカーの設置及びチューニング。						
科目のねらい						
・音響卓（アナログ、デジタル）の操作、周辺機器への正確な繋ぎこみ等ができる。 ・各スピーカーの仕込み、チューニングができる。ステージマンとしての動き方を理解している。						

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	8の字巻、マイクスタンドの立て方、スピーカースタンドの立て方。 音響卓のゲインのとり方、イコライジングの仕方。(考え方) PAスピーカーの組み方、音響卓～アンプ～スピーカーのつなぎ方及びGEQチューニング。
【後期】 4～7回目	バンドセットの実習を意識したマイキング、メインスピーカー(モニタースピーカー)のチューニング。 ダンスボーカル系のワイヤレスマイクの設置、メインスピーカー(モニタースピーカー)の設置及びチューニング。 ドラム周りのマイクのチョイス及びマイキング。
【後期】 8～10回目	PRE/POSTの説明、使い分けの考え方。 マルチボックス(16ch,32ch)マルチケーブルを用いてのINPUT/OUTPUTの接続。 バンドセットのライブ実習での実務経験。
【後期】 11～13回目	バンドセットのライブ実習での実務経験。 イベント時のPAセッティングの設置及びチューニング。 様々なPA機会でのスピーカー、マイクのチョイス。
【後期】 14～17回目	後期試験準備。 ■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アナログの音響卓でPAの基礎をしっかり学習していただきます。
備考	適時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	レコーディング		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I (後期)	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	17回(34単位時間)	年間単位数 1単位
科目設置学科コース	全学科全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	10代の頃から自身のユニットを結成して活動。ライブと並行してDTMでの制作を始める。その後音楽活動を続けながらもサウンドエンジニアリングにも傾倒。徐々に自身の作品以外のRec/Mixも手掛けるようになり、近年ではメジャーインディードなど多数のアーティストの作品にエンジニアとして携わりスタジオのメインエンジニアに就任。上記の経験を活かし仕込みからバラシ、スタジオ実習に関する実習を行う。				

授業概要
①レコーディングスタジオの機材や楽器についての理解を深める。 ②録音作業を通じてレコーディングの全体像を理解し、作品を完成させる技術を習得する。

到達目標
・レコーディングスタジオ内にある機材や備品の名称、役割を理解し適切に使用出来る。 ・同じ役割であれば初見の機材でも使用出来る応用力を身に付ける。 ・実践的な練習をすることで、時間のロスのない円滑なレコーディング作業を進められるようになる。 ・レコーディングからミックスまでの流れを学び、完成品のイメージを持った計画性のあるレコーディングを進められる。

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	スタジオの電源の入れ方から、ケーブルの正しい巻き方(8の字巻き)など基本的な作業を理解する
【後期】 4～7回目	マイクやコンソール、スピーカーなどスタジオに常設されている機器の役割を理解する マイクのマイクスタンドへの取り付け方やケーブルの接続方法、CueBoxなど録音前の準備について理解する
【後期】 8～10回目	バンドレコーディング実習(録音編)
【後期】 11～13回目	Pro Tools実習(バンドレコーディング素材の編集)
【後期】 14～17回目	■後期試験:筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	基本的なことから実践的なことまで、実際のスタジオワークを想定した内容を中心に学んでいきます。 わからないところはわかるまで解説しますので安心して下さい。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	楽器知識		授業形態 / 必選	実習	必修	
	学則別表上表記	分野別実習Ⅰ（後期）	年次	1年次		
授業時間	90分（1単位時間45分）		年間授業数	17回（34単位時間）	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全学科全コース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	自身のバンドで上京、メジャーデビューを果たす。シングル・マキシシングル・アルバム等、計7枚を発表。テレビ・ラジオを始め、各種イベント等多数出演。また、近年では福岡ナンバーショット、中洲ジャズやサツマニアンヘスなどにも舞台監督や現地楽器スタッフとして従事。上記の経験を活かし楽器知識についての講義を行う。					
授業概要						
ドラムセット、ギター、キーボード等様々な楽器の構造と仕組み、セッティング、弦交換、ケーブル作成、ドラムヘッドの張替え、メンテナンスの実技指導を行う						
到達目標						
幅広い楽器知識と実習経験を他学科でも活かせる事						

授業計画・内容	
【後期】 1～3回目	ドラムセットの構造、セッティング、各種シンバル音色の違い、ヘッド張替え、メンテナンス
【後期】 4～7回目	ギターの構造など、弦交換、チューニング、簡単な修理やメンテ、パッチケーブル作成
【後期】 8～10回目	エフェクターに使われる部品説明
【後期】 11～13回目	管楽器その他様々な楽器について
【後期】 14～17回目	■後期試験：筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「ドラムヘッド交換・チューニング等／ギター弦交換・チューニング等／半田付け技術の習得」の3項目の到達度を評価する。
学生へのメッセージ	多種多様な楽器の知識を理解してプラスになれるように学んでください。
備考	適宜テキスト配布